

DENON

FULLY AUTOMATIC DIRECT DRIVE TURNTABLE SYSTEM

フリーオートマチック ダイレクト ドライブ ターンテーブルシステム

DP-37F

取扱説明書



本機の機能を十分に発揮させて効果的にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願いいたします。尚、万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときのために、お読みになったあと、必ず保存してください。

目	次
特 長	2
このセットを安全に ご使用いただくためのご注意	3
各部の名称と働き	4
組 立 て	5
接続のしかた	5
針圧・アンチスケーティングの調整	6
Qダンピングの調整	6
演奏方法	7
部品の交換と再調整	8
故障? ちょっとお調べください	9
保証とサービスについて	10
主な仕様	11
コロムビアサービス網一覧表	裏表紙

梱包箱の中には本体とは別に、次の品物が入っていますので、ご確認ください。

① ターンテーブル	1	⑤ バランスウエイト	1
② ターンテーブルシート	1	⑥ 取扱説明書	1
③ 45回転用アダプター	1	⑦ 保証書	1
④ オーバーハングゲージ	1	⑧ 愛用者カード	1

【ステレオ音のエチケット】

- ◎楽しい音も、時と場所によっては気になるものです。
- ◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- ◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
- ◎特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。
- ◎夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- ◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- ◎お互に心を配り、快よい生活環境を守りましょう。

説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

特 長

1. 電子制御による無接触サーボトーンアームを搭載

独自の無接触電子制御サーボトーンアームをマイクロプロセッサで制御する方式の採用により、音質劣化のない使い易く安全性の高いオート動作を可能にしました。

2. Qダンピング方式の採用（ダイナミックサーボトレイサー）

カートリッジのコンプライアンスとトーンアームの実効質量による低域共振を水平、垂直両方向共に電子的にダンピングし、クロストークの悪化や混変調ひずみの増加を効果的に抑制して、軽量アームの特長を最大限に発揮させ、音像定位が良く、雑音やひずみの少ないレコード再生を実現しました。

3. 軽質量ストレートアームの採用

すぐれたトレース能力をもつハイコンプライアンスカートリッジの性能をフルに引出し、最新のハイグレードなレコードに対しても余裕十分なトレース能力を発揮します。

4. 両方向サーボ DENON クォーツの採用

磁気記録検出方式とクォーツロックの組合わせに、さらに両方向サーボを追加し、極限ともいえる回転精度を実現しています。

5. 新開発カートリッジを装備

楕円針付軽自重MMカートリッジDL-65の装備により、トレーシングひずみを軽減し、クリアーなサウンドを再生します。

このセットを安全にご使用いただくためのご注意

〈高温にご注意〉

- 長時間、直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。
また、放熱をよくするため壁から10cm以上離して置いてください。



〈内部に異物を入れない〉

- セットのすき間や内部に縫い針やヘアピン、硬貨などの金属物が入りますと、感電や故障の原因になりますので避けてください。



〈湿気や水、ホコリは禁物〉

- 湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと故障の原因になる場合があります。
また、あやまって内部に水が入ると故障や事故の原因となりますので、本機の上には花びんなど水の入ったものを置かないでください。



〈殺虫剤や化学雑きんは大嫌い〉

- 一般市販の殺虫剤、ベンジン、シンナーなどが付着しますとキャビネットが変色したり、変形しますのでご注意ください。
また、ほこりなどをふきとるときは、やわらかい布を使い、化学雑きんの使用は避けてください。



〈電源コードは大切に〉

- 電源コードは傷つけないよう大切にお使いください。傷がついた電源コードを使用することは危険です。
- プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないで必ずプラグを持って抜いてください。
※本機は国内仕様です。必ず AC100V の電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。



〈キャビネットは開けない〉

- キャビネットや底ぶたを開けて内部に手を入れますと危険ですので、開けないでください。
万一、不都合が生じた場合には、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げ店、又は最寄りの弊社営業所にご相談ください。



〈留守にするとき〉

- 外出、旅行などで長時間ご使用にならないときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。

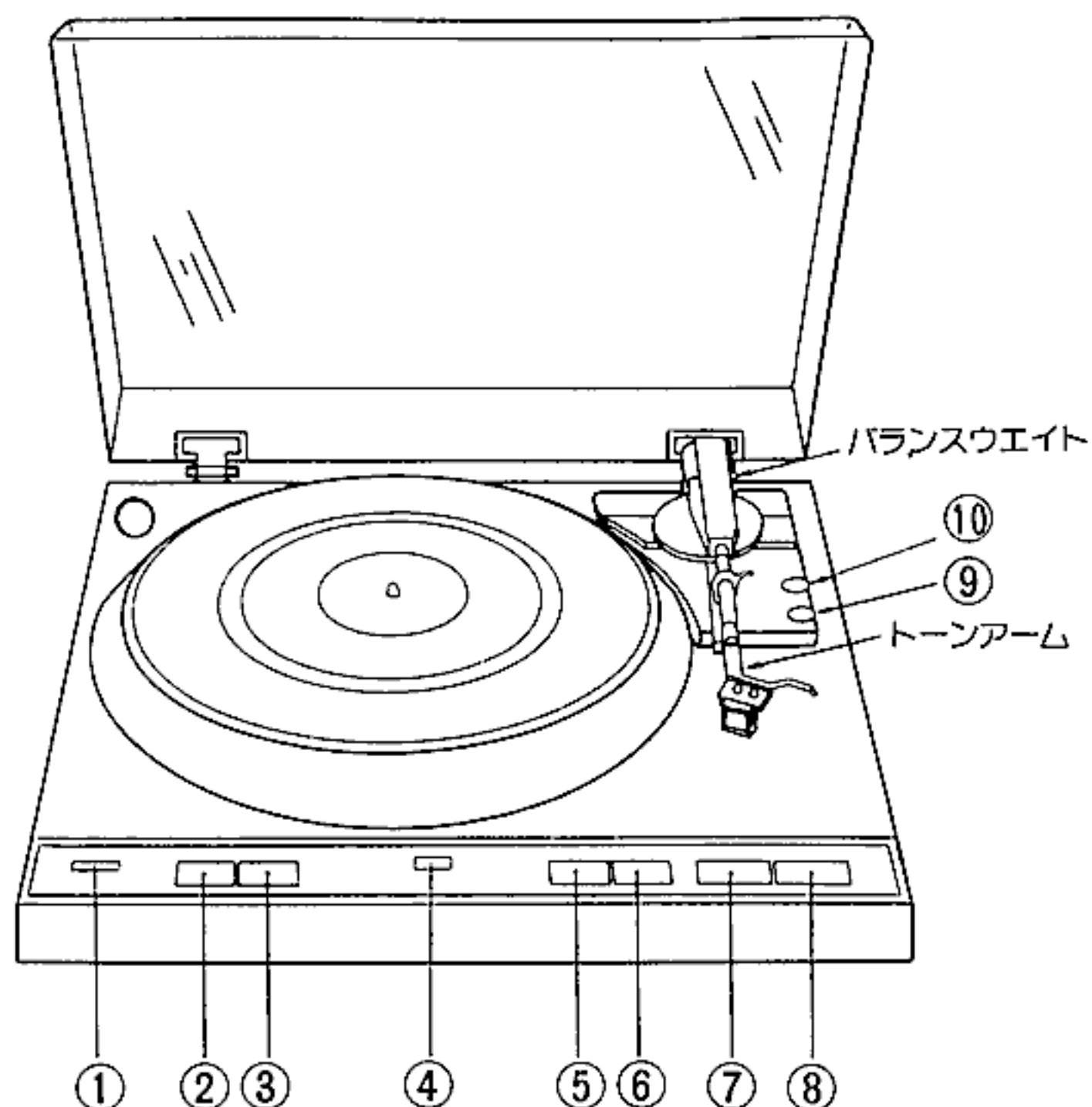


〈セットの風穴に物を置かない〉

- セットの風穴に物（カセットケースなど）を置くとセット内温度が上がり、故障の原因になります。



各部の名称と働き



1 電源スイッチ POWER

電源をon、offします。ボタンをロックするまで確実に押してください。電源を切る場合は、再度確実に押してください。アームは必ずアームレストへ戻し、クランプして電源を切ってください。

2 サイズボタン SIZE

演奏するレコード盤の大きさに合わせてボタンを押します。

30cmレコード盤 …… 「30」 (点灯)

17cmレコード盤 …… 「17」 (点灯)

3 スピードボタン SPEED

演奏するレコード盤の回転数に合わせてボタンを押します。

33 $\frac{1}{3}$ 回転レコード盤 …… 「33」 (点灯)

45 回転レコード盤 …… 「45」 (点灯)

4 ロックインジケータ LOCK

プレイ状態でターンテーブルが規定回転になると、LOCK ランプが点灯します。

5 アームリフターボタン UP-LIFTER

手動演奏や、演奏中にトーンアームを上下させる場合に使用します。UP (点灯)。

6 リピートボタン REPEAT-on

繰返し演奏するときこのボタンを押します。
on が点灯します。

7 スタートボタン START

自動演奏を開始するとき、このボタンを押します。

8 ストップボタン STOP

演奏を中止するとき、このボタンを押します。

9 針圧調整つまみ TRACKING

針圧を調整するとき使用します。
6ページ参照。

10 Qダンピング調整つまみ Q DAMPING

6ページ参照。

組立

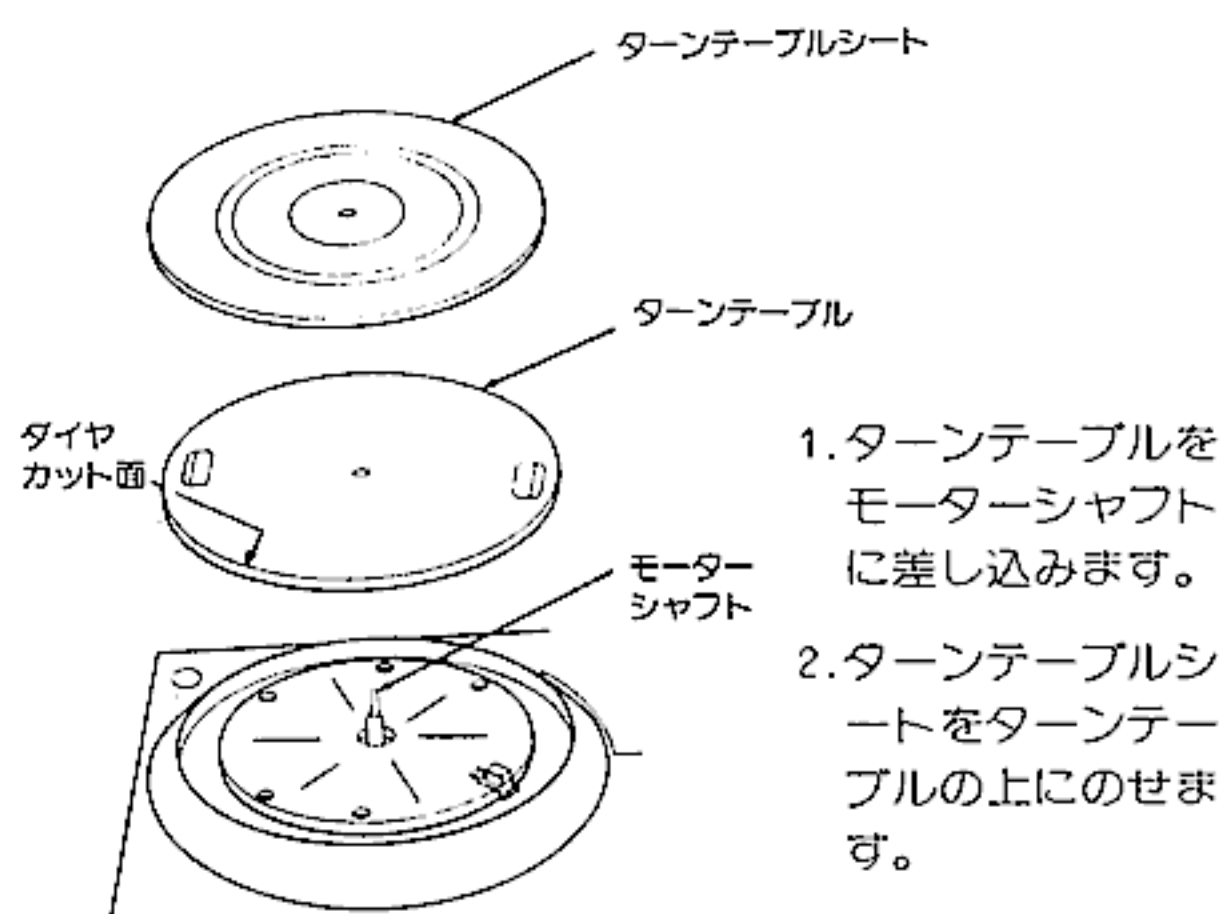
1. 梱包用パッキングをはずす

キャビネットについている左右のパッキング（発泡スチロール）をはずしてください。

2. ターンテーブル、ターンテーブルシートを取付けます。

ご注意：

ターンテーブル表面の磁気コーティング面（黒く塗ってある部分）に傷をつけないように注意してください。また、ターンテーブルのダイヤカット面（光沢部）に直接手をふれますと、腐蝕の原因になりますのでご注意ください。



接続のしかた

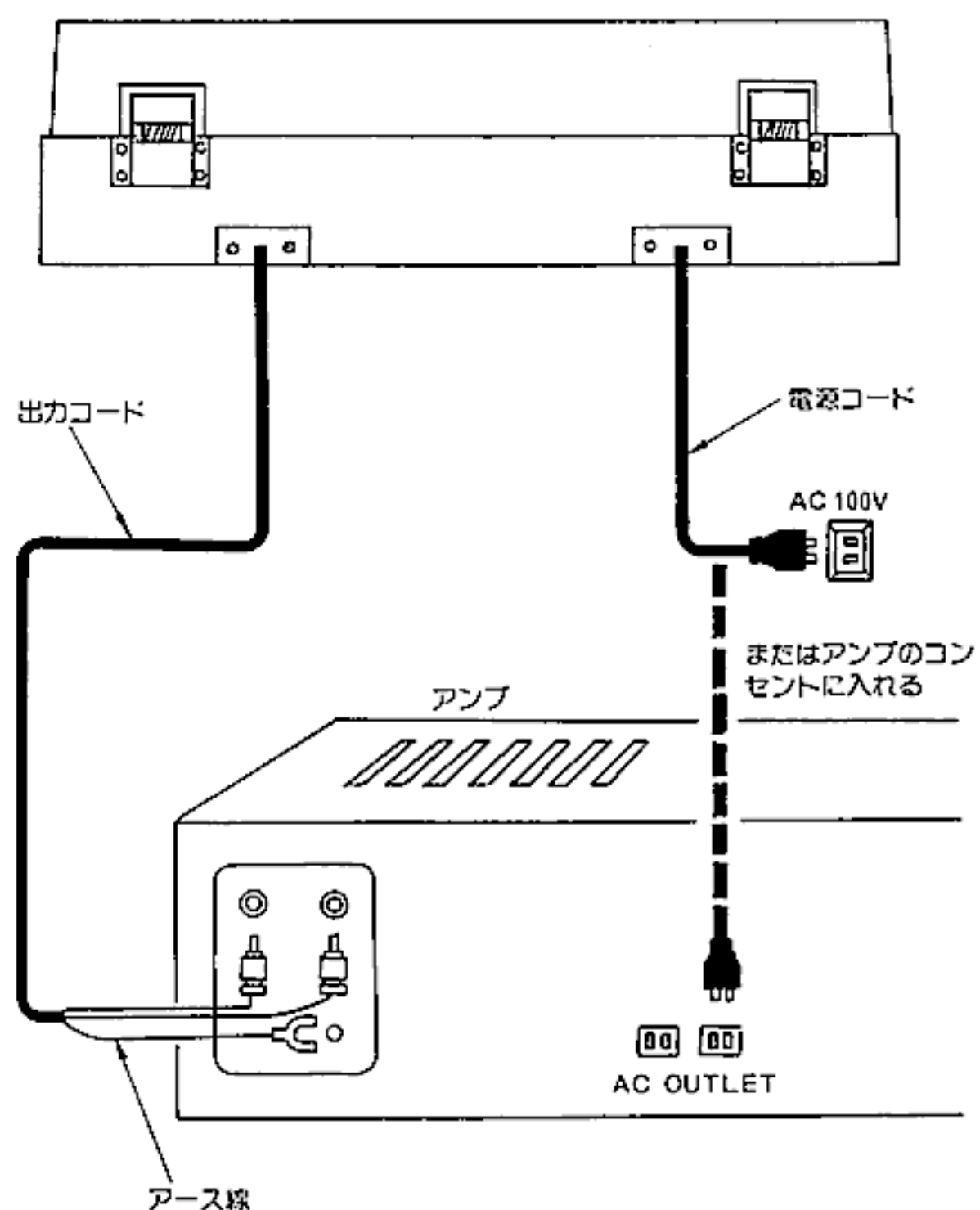
1. 出力コードのL、Rをご使用になるアンプの「PHONO」入力端子L、Rへそれぞれ接続します。

また、アース線（出力コードと一緒にになっている）を、アンプの「GND」端子へ接続してください。

ご注意：

付属のカートリッジ DL-65は、MM（ムービングマグネット）型ですので、必ずMM用の「PHONO」端子へ接続してください。

2. 電源コードを AC 100V の電源コンセントへ差込みます。（あるいはご使用のアンプ等に電源コンセントがあれば、そこに差込みます。この時、アンプ等の取扱説明書を参照し、電源コンセントの電力容量が十分であることを確認してください。）



針圧・アンチスケーティングの調整

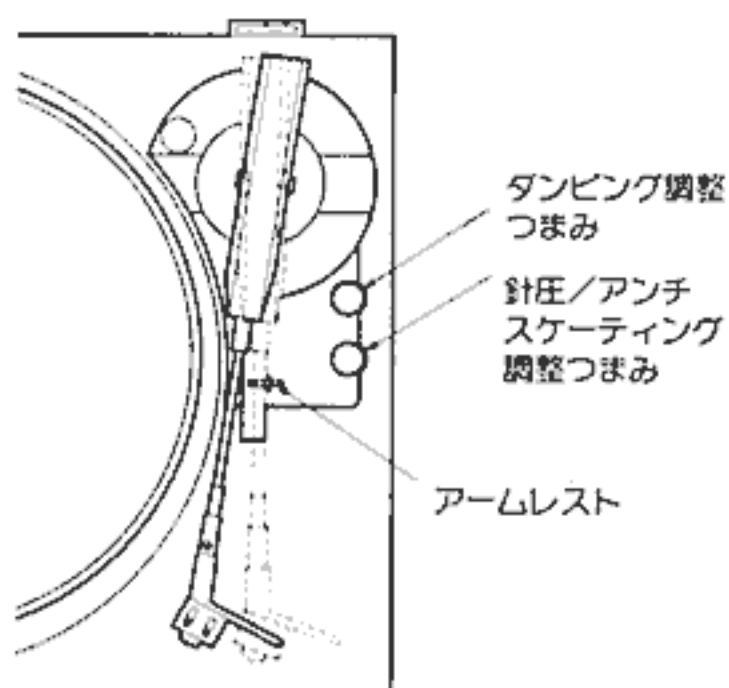
●電源スイッチを off にしてください。

1. アームクランプをはずします。



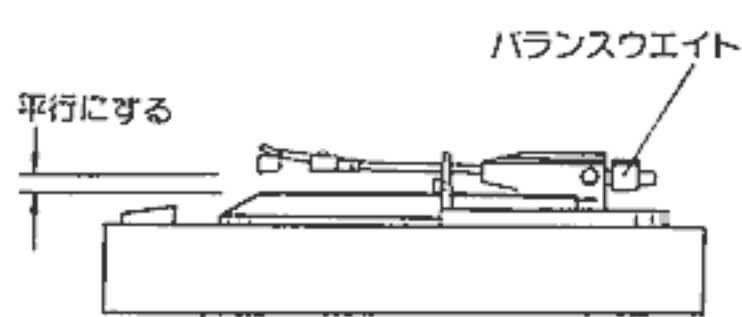
トーンアームを手で持ち、アームクランプを矢印の方向へ下げます。

2. トーンアームを移動します。

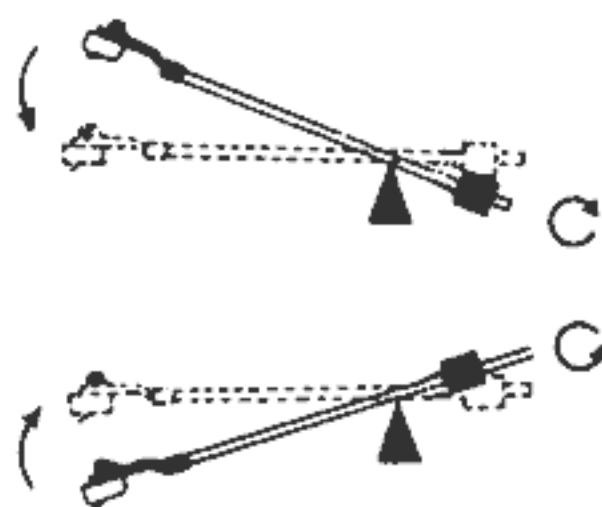


手でトーンアームをアームレストからはずし、ターンテーブルとアームレストとの間に移動します。

3. 水平バランスをとります。



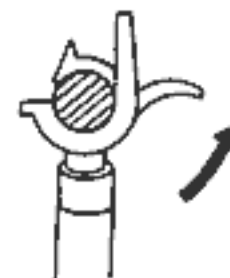
バランスウエイトを回転させ、手を離したとき、トーンアームがターンテーブル面と平行になるようにします。



バランスウエイトを矢印方向に回転します。

バランスウエイトを矢印方向に回転します。

4. トーンアームをアームレストにもどします。



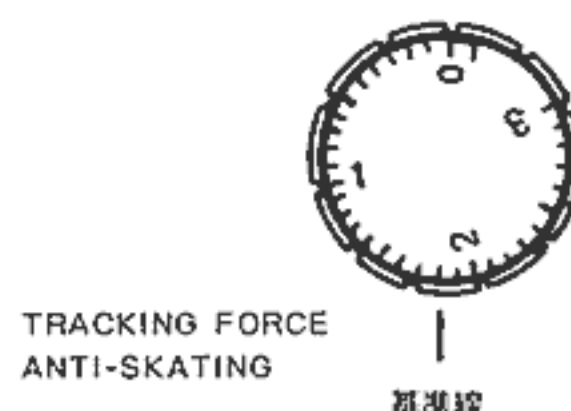
トーンアームをアームレストにもどし、クランプします。

5. 針圧、アンチスケーティングの調整

針圧つまみを回し、基準線に 1.8 を合わせます。

(このプレーヤーに付属のカートリッジの針圧は 1.8 g です。)

同時にアンチスケーティングも調整されます。

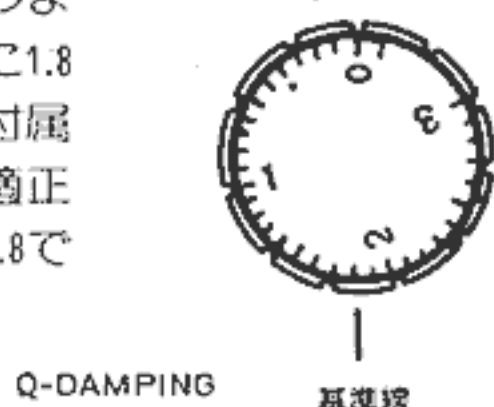


★針圧、アンチスケーティングの調整について

付属のカートリッジ以外のカートリッジをご使用になる場合、カートリッジの取扱説明書をよくお読みのうえ、そのカートリッジの適正針圧 (g) を加えてください。針圧を加えすぎるとアンチスケーティングも、同時に調整されます。

Qダンピングの調整

Qダンピング調整つまみを回し、基準線に 1.8 を合わせます。(付属のカートリッジの適正 Qダンピング量は 1.8 です。)



★Qダンピング量はカートリッジのコンプライアンスによって適正值が異なりますが、本機は針圧 (g) と同じ数値に合わせると、最適なダンピング量になるように設定されています。

演奏方法

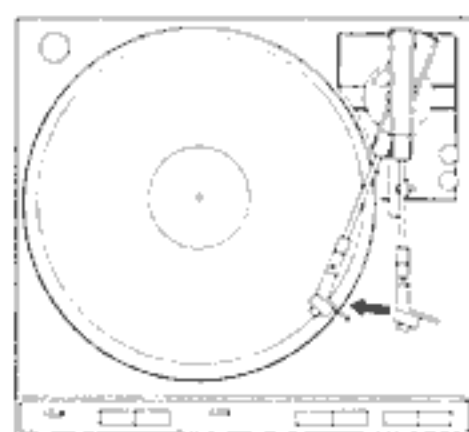
演奏の前に

- ① ご使用のアンプの電源を on にし、切換えスイッチを「PHONO」にします。
- ② レコード盤をのせ、針カバーを上げます。
9ページ参照。
- ③ 電源を on にし、スピード切換えボタンをレコードの回転数に合わせて切換えます。
33 $\frac{1}{3}$ 回転レコード盤 ……「33」(点灯)
45 回転レコード盤 ……「45」(点灯)
- ④ アームクランプをはずします。



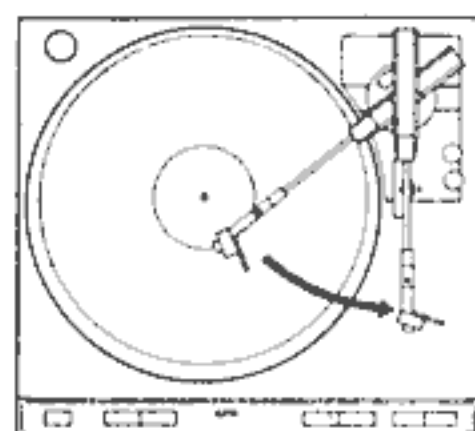
★自動演奏の場合

- ① レコードサイズ切換えボタンをレコードの大きさに合わせて切換えます。
30cmレコード盤 ……「30」(点灯)
17cmレコード盤 ……「17」(点灯)
- ② アームリフターボタンを押して down にします。
(UP-点灯になっていないかを確認めます。)
- ③ スタートボタンを押します。

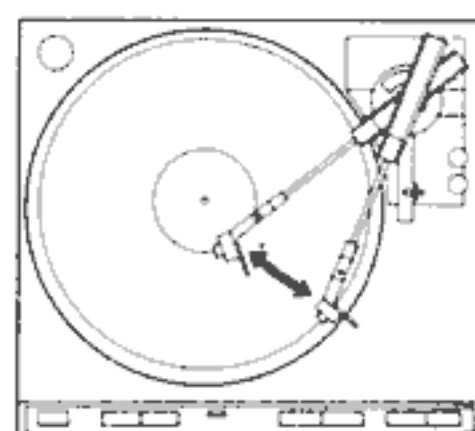


トーンアームがレコード盤上へ移動し、演奏が始まります。

- ④ 演奏が終わるとトーンアームがアームレストへ戻り、ターンテーブルの回転が止まります。(リピートスイッチが off の場合。) リピートボタンが on(点灯)の場合は、繰返し演奏します。



リピート off の場合



リピート on の場合

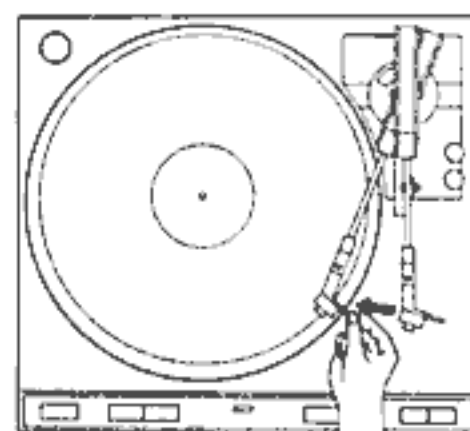
★手動演奏の場合

- レコードの途中の位置から演奏する場合。
- レコード盤の大きさが規格外の場合など。

次の2つの方法で演奏することができます。

方法：1

- ① スピードボタンを押してレコードの回転数に合せます。
- ② アームリフターボタンを UP (点灯) にします。
- ③ 手でトーンアームをレコード盤の希望の位置へ移動します。

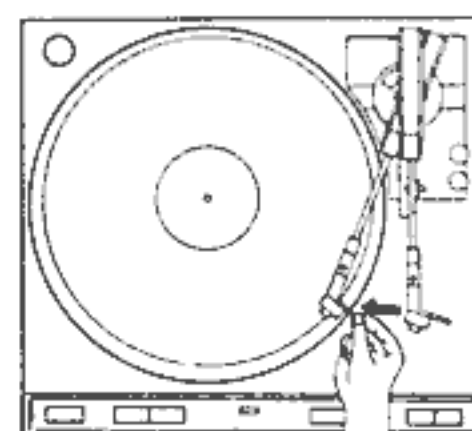


トーンアームを手で移動させます。

- ④ ターンテーブルが回転をはじめます。
- ⑤ アームリフターボタンを押すと、トーンアームがおりて演奏が始まります。
- ⑥ 演奏が終わると自動演奏の場合と同じように、トーンアームは自動的に戻ります。

方法：2

- ① スピードボタンを押してレコードの回転数に合せます。



- ② 手でトーンアームをレコード盤の方向へ移動すると、ターンテーブルが回転します。

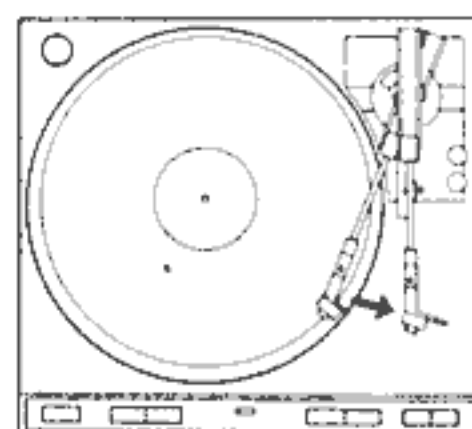
- ③ 希望の位置に針をおろすと演奏を始めます。
- ④ 演奏が終わると、トーンアームがアームレストへ戻り、ターンテーブルの回転が止まります。

繰返し演奏の方法

リピートボタンを on (点灯) にします。リピートを解除するまで繰返し演奏を続けます。リピートを解除する場合は再度リピートボタンを押してください。

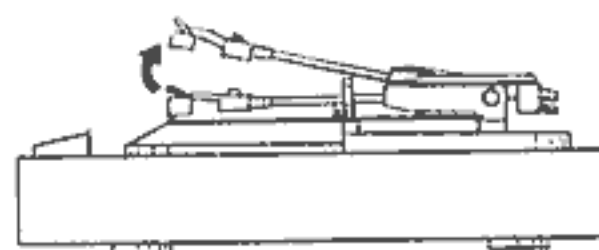
★演奏を途中で止める場合

- ① ストップボタンを押します。



トーンアームはアームレストに戻り、ターンテーブルの回転が止まります。

- ② または、アームリフターボタンを押して UP (点灯) にします。トーンアームはその位置で上がり、ターンテーブルは回転を続けます。



部品の交換と再調整

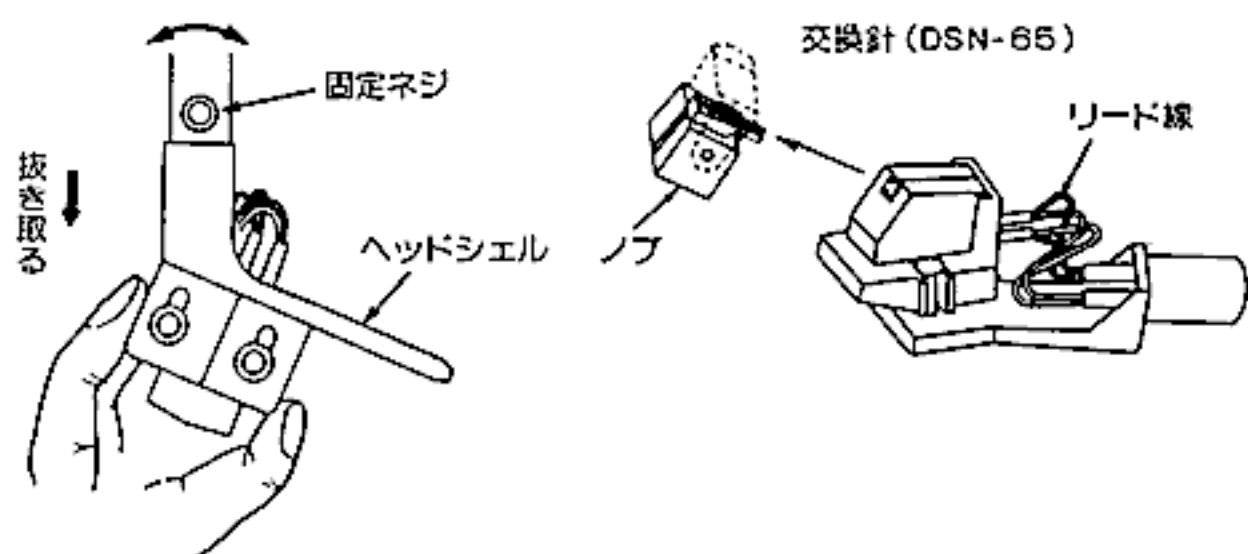
針先の交換

付属のカートリッジの針先耐用時間は約 500 時間です。レコード盤を傷つけたり、音がひずんだりしますので、早めに交換してください。

- 交換針のお買い求めは、必ず「DENON DSN-65」とご指定ください。他の交換針をご使用になった場合には、性能、故障に対して保証いたしかねます。

●交換のしかた

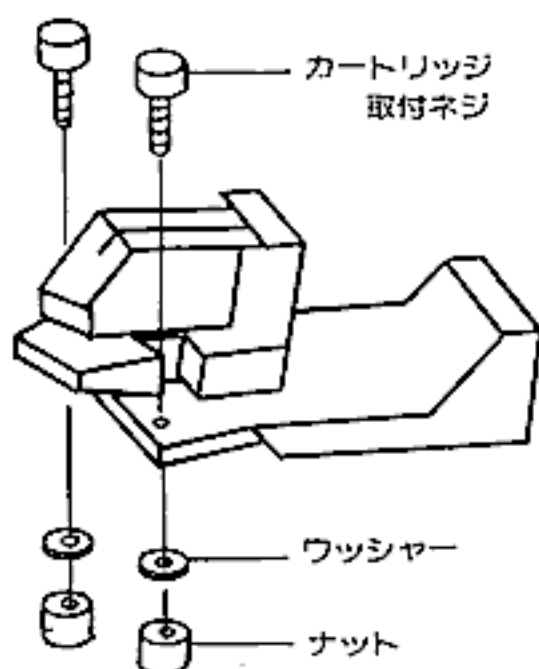
- ① アーム先端の固定ネジをゆるめ、ヘッドシエルを矢印の方向に抜き取ります。
- ② ノブを指先でつまみ、斜め上方に静かに抜き取ります。
- ③ 新しいノブを、確実に最後まで差し込みます。



カートリッジの交換

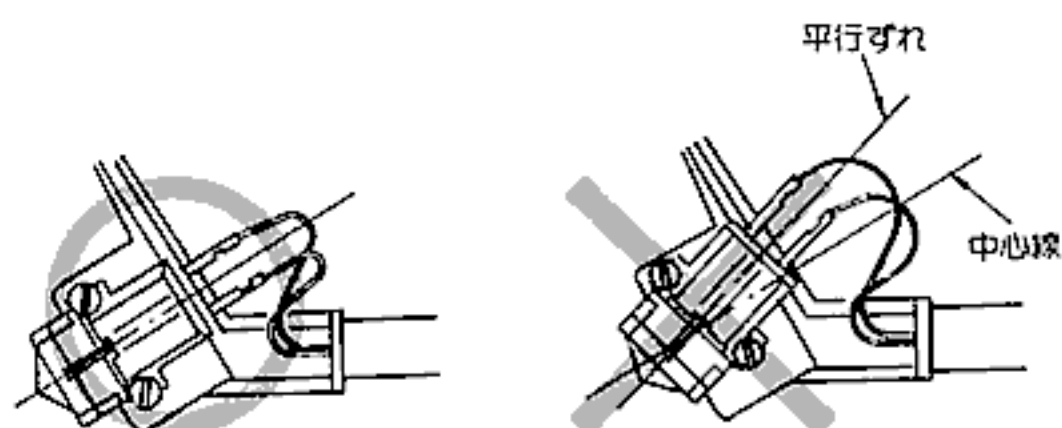
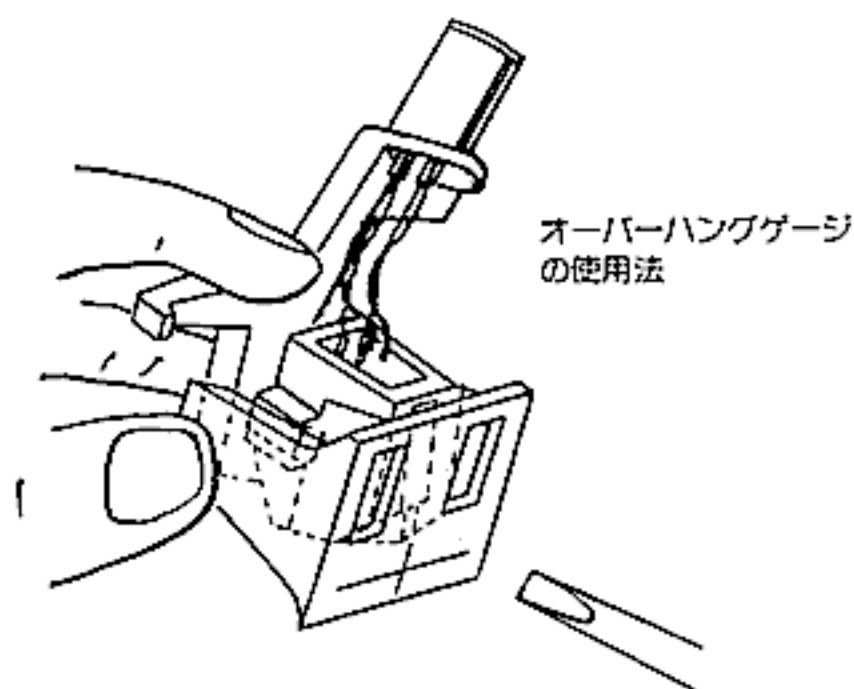
このプレーヤーのヘッドシエルに別のカートリッジを取付ける場合は、自重 4～9 g (ビス、ナット込み) であれば取付け可能です。(ヘッドシエルのみをお求めになる場合は販売店で「DENON PCL-30BK」とご指定ください。)

- カートリッジを取り外す時は、ヘッドシエル固定ネジをゆるめ、ヘッドシエルを抜き取ってからリード線を外し、図のようにカートリッジ取付ネジをゆるめてください。



- カートリッジを取付ける際は、最初多少動く程度に軽くネジ止めしておき、図に示すように付属のオーバーハングゲージを用い、カートリッジの針先が十字線の中心にくるように調整します。この時、シエルとカートリッジが平行になるように調整してから、しっかりとネジを締めてください。

以上の取付けで所定のオーバーハングになります。



- リード線の色分けは次のようになっています。間違いないように、十分注意して差し込んでください。

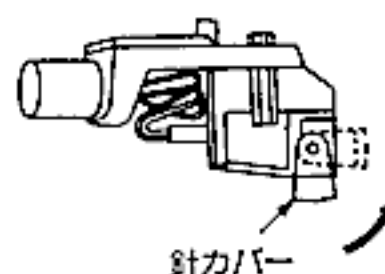
- 赤 … 右チャンネル (R)
- 白 … 左チャンネル (L)
- 緑 … 右チャンネルアース (RG)
- 青 … 左チャンネルアース (LG)

- カートリッジを固定後ヘッドシエル全体をアーム先端に差し込み、ヘッドシエル固定ネジを締めてください。
- DL-65 以外のカートリッジを取付ける場合は、そのカートリッジの取扱説明書に従い、正しく取付けてください。

ご注意：

カートリッジを交換した場合は、水平バランス、針圧調整、Qダンピングの調整を忘れず行ってください。

●針カバーの上げ方（付属カートリッジDL-65の場合。）



演奏の時は、矢印の方向に針カバーを上げてください。

●演奏が終わりましたら、針先保護のため、針カバーをおろしてください。

故障？ ちょっとお調べください

故障かな …… と思ったら、ちょっと次のことをチェックしてみてください。

スタートボタンを押しても演奏しない

- トーンアームが移動しない …… ●電源スイッチが on になっていますか
- アームクランプをはずしてありますか …… 6 ページ参照
- トーンアームの水平バランスをとりましたか …… 6 ページ参照
- 針先がレコード盤におりない …… ●針圧がかかっていますか …… 6 ページ参照
- 針先が希望する位置におりない …… ●カートリッジが正しくヘッドシェルに取付けられていますか …… 8 ページ参照

- プレーヤーが水平に置かれていますか
- 音が出ない …… ●カートリッジとヘッドシェルの接続は正しいですか …… 8 ページ参照
- 出力コードが正しくアンプに接続されていますか …… 5 ページ参照
- アンプのつまみ類の調整、切換えは正しいですか

- ハム雑音（ブーン）が出る …… ●出力コードのアース線はアンプに接続しましたか …… 5 ページ参照
- 出力コードのプラグは確実に接続されていますか
- ヘッドシェルは固定ネジでしっかり固定されていますか …… 8 ページ参照

- 針とびを起す …… ●針圧が適正針圧になっていますか …… 6 ページ参照
- レコード盤がそったり、キズが付いていませんか
- 針先にほこりが多量に付いていませんか

- アームが途中で進まない …… ●レコード盤にキズが付いていませんか
- アームが何かに当たっていませんか

- 音が小さい（大きい） …… ●カートリッジの種類（出力）に適したアンプの接続、切換えになっていますか

- チューナーに雑音が入るとき …… ●本機をご使用中にチューナーに雑音が入る場合は、チューナーとプレーヤーをお互いに離すか、アンテナ線を離してお使いください。

- 電源を入れるとアームが上下する …… ●電源を入れた時アームが上下する場合がありますが故障ではありません。

保証とサービスについて

- アフターサービスのご依頼、ご不明の場合は、お買上げの販売店かお近くの弊社お客様相談センター、又はサービス窓口へご相談ください。

本製品の修理は出張で承ります。修理を依頼されるときは、下記項目をお読みのうえお買上げの販売店、または弊社サービス窓口にご連絡ください。

1. この製品には、保証書が添付されています。
保証書は、お買上げ販売店でお渡しいたしますので、記載内容及び記入事項を必ずご確認のうえ、大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買上げ日より1年間です。
保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理を申し受けます。その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
3. 保証期間の1年間を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施していますので、販売店、又は最寄りの弊社営業所にご相談ください。
4. この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。
5. ご使用中に“故障かな？”とお思いになる点がございましたら、本文中“故障と思われるとき”の項をお読みになってください。意外と故障でない場合があるものです。
(ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障でない場合でも点検代と出張費をいただきますので、ご注意ください。)
6. 故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上げ店、又は最寄りの弊社営業所へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。
(裏表紙のサービス網一覧表をご参照ください。)
7. サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリ知らせてください。また、お勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、または連絡方法をお知らせください。
(セットの具合を詳しくおたずねしたいときや、やむをえぬ事情によりお約束を変更しなければならないときに、お客様にご迷惑をおかけしないですみます。)
8. サービスをご依頼なさるときは、セットの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの型名(DP-37F)、製造番号などもあわせてお知らせください。
(あらかじめ補修部品などを手配し、早く確実にサービスに伺えます。)
9. 昼間ご不在がちのお客様や留守がちのお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。万一、お約束した日時にご都合が悪いときには、できるだけ早くご連絡くださるようお願いいたします。
(出張料の二重負担が防止でき、お得です。)

主な仕様

●フォノモーター

駆動方式	サーボ式ダイレクトドライブ
回転数	33 1/3 rpm. 45 rpm.
ワウ・フラッター	0.012% wrms 以下 (回転系) 0.020% wrms 以下 (JIS)
S / N	78dB 以上 (DIN-B)
起動時間	2秒以内で規定回転 (33 1/3 rpm 時)
ターンテーブル	アルミダイカスト 直径300 mm
モーター	リニアドライブモーター
スピード制御方式	周波数検出によるスピードサーボ および位相サーボ
負荷特性	0% (針圧80 g 最外周)
回転数偏差	0.01% 以下

●総 合

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	約7W
寸法	(幅)434×(高さ)145×(奥行)410 [単位: mm]
重量	約7.5kg

●トーンアーム

アーム形式	ダイナミックバランス ストレートパイプ型トーンアーム
有効長	220mm
オーバーハング	16mm
トラッキングエラー	3° 以内
オート機構	電子制御フルオート
針圧可変範囲	0~3.0 g (1目盛 0.1 g)
適合カートリッジ自重	約4.0~9.0 g (ピス、ナット含む)

●カートリッジ

DL-65	出力電圧	 2.5mV
	再生周波数特性	 20Hz~30kHz
	針圧	 1.8±0.3 g MM型
	交換針	 DSN-65

※上記の仕様および外観は、改善のため今後変更されることもあります。

コロムビアサービス網一覽表

●弊社製品についてのお問合わせ、アフターサービスについてのご相談は、お買上げ店または最寄りの下記営業所へご連絡ください。

郵便番号	所在地	電話	郵便番号	所在地	電話
○札幌電機営業所	060 札幌中央区北三条東2-2	TEL 札幌 011 (241) 1541	○名古屋電機営業所	450 名古屋市中村区名駅南1-18-11	TEL 名古屋 052 (583) 1621
銅路出張所	085 銅路市松浦町12-15	TEL 銅路 0154 (23) 0491	岡崎出張所	444 岡崎市六名本町19-8	TEL 岡崎 0564 (53) 2515
旭川出張所	070 旭川市一条13-右9	TEL 旭川 0166 (26) 2421	岐阜出張所	500 岐阜市一松道1-6 川合ビル1F	TEL 岐阜 0582 (46) 8571
函館出張所	040 函館市豊川町12-10	TEL 函館 0138 (23) 5668	四日市出張所	510 四日市市市中町11-6	TEL 四日市 0593 (52) 8161
帯広出張所	080 帯広市東一条南7-2	TEL 帯広 0155 (23) 9291			
青森電機営業所	030 青森市本町3-8-8 コーポ本町1F	TEL 青森 0177 (75) 2781	金沢電機営業所	921 金沢市横川町6-14	TEL 金沢 0762 (42) 7151
秋田出張所	010 秋田市川尻御休町3-2	TEL 秋田 0188 (63) 3636	富山出張所	930 富山市西中野本町15-18	TEL 富山 0764 (91) 2301
			福井出張所	910 福井市大願寺3-509	TEL 福井 0776 (21) 3959
○仙台電機営業所	980 仙台市青葉区片平1-3-30	TEL 仙台 022 (225) 4341	○京都電機営業所	600 京都市下京区中堂寺庄の内町46-15	TEL 京都 075 (314) 2811-5
盛岡出張所	020 盛岡市上田3-7-24	TEL 盛岡 0196 (23) 6451-2	○大阪サービスセンター	542 大阪市中央区南船場2-12-8	TEL 大阪 06 (245) 3081
山形出張所	990 山形市松波1-15-6	TEL 山形 0236 (22) 7614	大阪中央電機営業所	542 大阪市中央区南船場2-12-8	TEL 大阪 06 (245) 3061
郡山出張所	963 郡山市並木2-13-2	TEL 郡山 0249 (32) 3145	大阪電機営業所	542 大阪市中央区南船場2-12-8	TEL 大阪 06 (245) 3071
			和歌山出張所	641 和歌山市東高松2-9-36	TEL 和歌山 0734 (26) 1891
○新潟電機営業所	951 新潟市上大川前通3-19-1	TEL 新潟 025 (223) 6341	○神戸電機営業所	651 神戸市中央区御幸通4-2-25	TEL 神戸 078 (231) 0451
長岡出張所	940 長岡市南町1-4-9	TEL 長岡 0258 (35) 1755	姫路出張所	670 姫路市今宿1577-1	TEL 姫路 0792 (92) 7775
松本出張所	390 松本市大手1-7-8	TEL 松本 0263 (36) 9085			
長野出張所	380 長野市川合新田3767	TEL 長野 0262 (28) 6717	岡山電機営業所	700 岡山市上中野2-28-10	TEL 岡山 0862 (41) 2657
宇都宮電機営業所	321 宇都宮市錦2-4-3	TEL 宇都宮 0286 (24) 1511	○広島電機営業所	730 広島市中区紙町3-63	TEL 広島 082 (221) 4321
水戸出張所	310 水戸市見川5-309-3	TEL 水戸 0292 (43) 3410	山口出張所	754 山口市吉敷郡小郡町大字下郷2244-10	
					TEL 小郡 08397 (3) 5051
○関東電機営業所	330 大宮市宮原町2-127-1	TEL 大宮 048 (665) 2431	松江出張所	690 松江市西津田5-1-14	TEL 松江 0852 (22) 7700
高崎出張所	370 高崎市緑町2-2-3	TEL 高崎 0273 (61) 2933			
○千葉電機営業所	280 千葉市末広町3-17-17	TEL 千葉 0472 (63) 5921-4	○四国電機営業所	760 高松市龜岡町1-60	TEL 高松 0878 (61) 4993
柏出張所	277 柏市松ケ崎498	TEL 柏 0471 (33) 0821	松山出張所	790 松山市天山町149-1	TEL 松山 0899 (31) 3218-9
			高知出張所	780 高知市高須新町2-14-7	TEL 高知 0888 (83) 0008
○東京サービスセンター	113 東京都文京区湯島3-16-11	TEL 東京 03 (837) 7321	○北九州電機営業所	802 北九州市小倉北区浅野3-4-18	TEL 北九州 093 (521) 6581
東京第1電機営業所	113 東京都文京区湯島3-16-11	TEL 東京 03 (837) 7311	大分出張所	870 大分市新川町1-10-7	TEL 大分 0975 (34) 7545
東京第2電機営業所	113 東京都文京区湯島3-16-11	TEL 東京 03 (837) 7322	宮崎出張所	880 宮崎市紙園町2-117	TEL 宮崎 0985 (24) 1515
東京第3電機営業所	113 東京都文京区湯島3-16-11	TEL 東京 03 (837) 7333			
○立川電機営業所	190 立川市富士見町1-12-1	TEL 立川 0425 (27) 6611	○福岡電機営業所	812 福岡市博多区上呉服町10-1 博多三井ビル9F	
					TEL 福岡 092 (271) 4911
○横浜電機営業所	231 横浜市中区松影町1-4-7	TEL 横浜 045 (681) 8221	久留米出張所	830 久留米市上津町1690-2 第二江崎ビル	
厚木出張所	243 厚木市旭町1-33-9 チサンビル本厚木2F				TEL 久留米 0942 (22) 2122
		TEL 厚木 0462 (28) 0605	長崎出張所	852 長崎市橋口町19-9	TEL 長崎 0958 (44) 1201
			佐世保出張所	857 佐世保市日字町2855-8	TEL 佐世保 0956 (31) 3208
			熊本出張所	860 熊本市本荘6-3-10	TEL 熊本 096 (371) 2205
			鹿児島出張所	890 鹿児島市上之園町34-15	TEL 鹿児島 0992 (56) 7281
○静岡電機営業所	422 静岡市馬淵1-5-12	TEL 静岡 0542 (85) 9111			
沼津出張所	410 沼津市東沢田814-8	TEL 沼津 0559 (21) 3677	沖縄コロムビア販売株式会社	901 那覇市小禄1-18-14	TEL 那覇 0983 (57) 0770
浜松出張所	430 浜松市佐藤町848	TEL 浜松 0534 (61) 4707			

○印には「お客様相談センター」の窓口がありますのでご相談ください。

● 本社お客様相談センター TEL 東京03(584)8111

(〒107-11) 東京都港区赤坂4-14-14

所在地・電話番号は変更になる場合がございますのでご了承ください。

90801

後日のために記入しておいてください。

購入店名: _____ 電話(_____)

ご購入年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

日本コロムビア株式会社

本社 〒107 東京都港区赤坂4-14-14 TEL 03 (584)8111(大代表)